

# フィッシング対策協議会

月次報告書（2005年8月分）

フィッシング情報届出状況

2005年9月20日

## 目次

|      |                          |   |
|------|--------------------------|---|
| 1.   | フィッシング情報届出状況 .....       | 2 |
| 1.2. | 業種別の状況.....              | 3 |
| 1.3. | フィッシングサイトの国別トップ 10 ..... | 3 |
| 1.4. | フィッシングメールの動向.....        | 3 |
| 1.5. | フィッシングサイトの動向.....        | 4 |
| 1.6. | フィッシング関連の不正プログラム情報 ..... | 4 |
| 1.7. | その他の動向 .....             | 4 |
| 1.8. | 総括.....                  | 4 |

# 1. フィッシング情報届出状況

## 1.1. フィッシング情報届出状況

8 月度のフィッシング報告件数は 0 件でした。

・フィッシング情報の届出件数：0 件

(7 月度 1 件、6 月度 1 件、5 月度 0 件、4 月度 0 件、3 月度 2 件、11 月度 1 件)

・フィッシングメールの件数：0 件

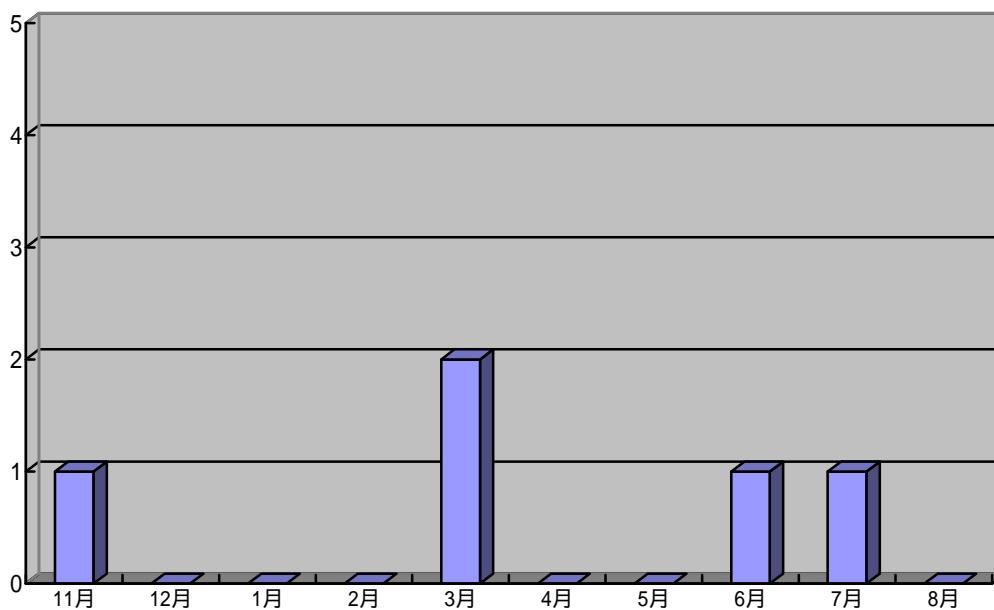
・フィッシングサイトの件数：0 件

(7 月度 1 件、6 月度 1 件、5 月度 0 件、4 月度 0 件、3 月度 2 件、11 月度 1 件)

・フィッシングによりブランド名を悪用された企業の件数：0 件

(7 月度 1 件、6 月度 1 件、5 月度 0 件、4 月度 0 件、3 月度 2 件、11 月度 1 件)

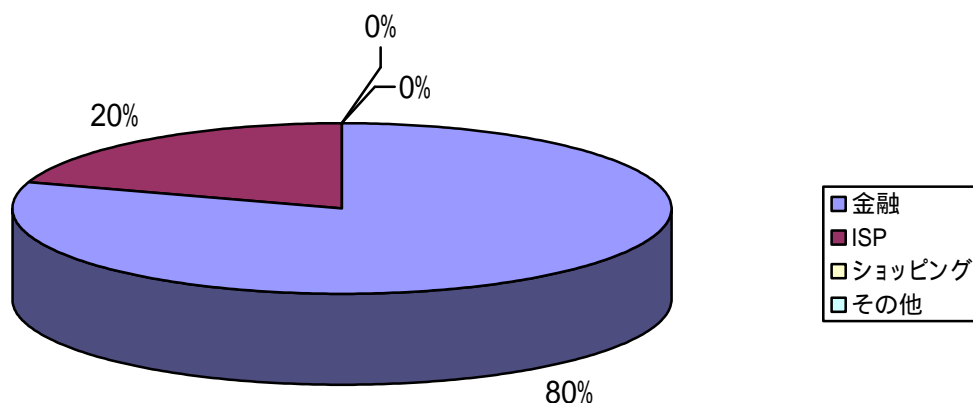
・もっともフィッシングに利用される WEB サイトが多かった国：無し



フィッシングサイトの報告件数(2004年11月～2005年8月)

## 1.2. 業種別の状況

2004年11月度から2005年8月度までの統計は金融関連4件とISP1件という統計になりました。



業種別の状況 (2004年11月～2005年8月)

## 1.3. フィッシングサイトの国別トップ10

現在ではルーマニア (VISA)、ウルグアイ (UFJ 銀行)、ポーランド (UFJ 銀行)、韓国 (UFJ 銀行)、日本 (Yahoo! Japan)、ペルー (UFJ 銀行) が各1件ずつ確認されています。

## 1.4. フィッシングメールの動向

現在確認されているものに関してはHTMLメール偽装リンクを設置してフィッシングサイトに誘導させるというものが確認されています。

## 1.5. フィッシングサイトの動向

8 月度においては特に国内におけるフィッシングメール/サイトに関連する届出はありませんでした。そのため現在確認されているサイトの動向としては、前月度までと同様 JAVA スクリプトを使ったアドレスバーの偽装利用した手法がビザ・インターナショナルを偽装したサイトで確認されていますが、その他は IP アドレスまたは別のドメイン名がブラウザのアドレスバーにそのまま表示されるものも含まれています。7 月度に発見、報告が行われた UFJ 銀行のフィッシングサイトにつきましては URL アドレスバーに IP アドレスがそのまま表示されるものでした。

## 1.6. フィッシング関連の不正プログラム情報

特にありません。

## 1.7. その他の動向

特にありません。

## 1.8. 総括

8 月度は特に国内におけるフィッシングメール・フィッシングの被害についての報告はありませんでした。しかしながら米国では依然として 3,000 件以上/月のフィッシングサイトが報告されており、その報告数も 14,000 件以上を数えています。そのため、低い水準にとどまっている国内の報告件数に関しても予断を許さない状況であると共に、消費者が受け取っている日本語以外のフィッシングメールも含めると潜在的なインシデントは想像に難しくありません。

また、米国 APWG のレポートを見ますとクロスサイトスクリプティングや DNS ポイズニングなどのファーミング手法、スパイウェアなどの新たな手法がレポート内に紹介されています。今後フィッシングメールを使用せずにユーザをフィッシングサイトに誘導させる手法も顕著になりつつあります。